

成果報告書

(地域部活動推進事業)

南関町立南関中学校

所在地	熊本県南関町
運営主体	南関町教育委員会
事業目標	指導の高度化や専門化への対応、生徒の多様なニーズに応じた指導及び教員の負担軽減等がなされたかの把握を行い実現し、効果的な指導体制システムを新たに構築すること
団体・組織等の連携	別添ポンチ絵参照
活動場所	南関町立南関中学校
活動概要	外部指導者による休日部活動指導 コロナ禍による発表会等の中止及び指導者の体調不良などの影響あり

○本事業による成果

教員の負担感は、軽減できたことの達成には至っていない。学校全体では、部活動次第であり、よくなった部と変わらない部がある。少なくとも悪くなった点はない。

アンケートでは、そもそも自分の意志で選択した部活動が約62%を占めた。その目的も「上達したい」や「楽しみたい」が多数で、部活動に満足している生徒は約93%であった。

本年度は、コロナ禍のため大会が中止されたことが多く、十分な活動ができなかった。専門的な技術を有する外部指導者からの指導を期待していたが、活動自体もままならず、鈍い結果となってしまった。

このようなことから、教員の働き方改革へつながったとは、言い難い。また、休日の外部指導者の指導についても教員・生徒共に実感がないかと感じられる。

生徒、保護者、教員、外部指導者向けにアンケートを実施した。結果については、別添のとおり。

○児童・生徒への指導に関する工夫

顧問(先生)と指導者(コーチ)の必要性について、生徒アンケートによると、指導者のみがよい12.7%、顧問と指導者がよい66.1%、顧問がいてかつ指導者を増やす15.3%であった。この数字は運動部を含めた総数であるので一概には言えないが、学校内のみならず、外部からの指導を受けることが、部活動の楽しみや技術力向上に結びついていると思われる。

また、指導者のためには、町で研修会を実施した。研修会では、教職員を含め本町に関わるすべての指導者に受講するよう周知し、約90%の指導者が地域部活動移行について学んだ。

○運営上の工夫

指導者については、令和2年度中に学校と協議し、学校推薦によって選定を行った。休日の部活動指導ができることが第一条件であった。教職員と生徒の間に指導者が加入した形であったが、部活動の運営自体には、特に問題はなかったようだ。

教育委員会では、学校と保護者とのつなぎ役として、保護者総会に同席し、部活動の地域移行及び指導者についての説明等を実施した。保護者からは、指導者に対しては、どちらかと言えば歓迎する雰囲気であった。

○継続的な運営に関する課題

①「費用」指導者謝金、旅費、保険料などが必要になる。経済的理由で部活動に参加できない生徒が出てくる可能性がある。

②「責任の所在」身体的なケガのみでなく、精神的なキズも。生徒の送迎時の事故もある。

③「指導場所の問題」学校施設の施錠問題。誰が鍵を開け、誰が閉めるのか。指導者に鍵を預けるか。

④「教員の兼職兼業」兼職兼業に対する保護者の要望、教職員同士の同調圧力等。兼職兼業が多数派にならないような周知が必要である。

⑤「指導者派遣の仕組み」自治体単独での研修ではなく、指導者認定基準を国や九州、県などの広い範囲とすべき。人材バンクなどへ登録する指導者も、単独自治体でなく広く派遣・指導することが可能となる。

⑥「移行時期の統一」自治体内でも同様であるが、A市は移行したがB町は移行していないとなると、保護者や指導者、教職員も迷いや不信感へとつながっていくのではないかと。

○令和5年度からの学校部活動の段階的な地域移行に関する方針・計画

- ①「費用」国などからの補助金がなくなれば、対応が困難。家庭の経済格差がある中で、どのような基準で経済支援策を講じるかなど決定事項が多い。
- ②「責任の所在」地域移行後は、文部科学省が示しているよう地域団体・運営団体の責任でよろしいかと思うが、本事業中に、特に指導者に責任を負わせるのは筋違いではないか。自治体の責任になるのであろうか？
- ③「活動場所」学校の管理は、学校であるが、教職員に鍵の開閉を依頼するのは、地域移行の趣旨に反すると思う。鍵自体を箱に保管する「鍵BOX」なるものを活用してみたい。
- ④「兼職兼業」平日指導している教職員には、その成果を見届けたい気持ちがある。兼職兼業届を提出してでも子どもたちの成果を…という積極的な気持ちを持つ教職員は、その気持ちを受け入れるべきであろう。
- ⑤「指導者登録」せめて県を単位としての登録制度を構築してもらいたい。本町では、将来を見据え、情報を共有する総合型地域スポーツクラブへの登録を進めていきたい。
- ⑥「移行時期の統一」令和5年度からの地域移行が目標であるが、本町が先んじて移行してしまい、近隣の自治体へ悪影響を及ぼすことがないようにしたい。

参加者 (予定人数)	南関中学校吹奏楽部11名
募集方法	部活動募集
指導者	高等学校の非常勤講師で、吹奏楽部の指導経験者。 中学校から高校まで吹奏楽部に所属し、音楽大学に進学。
移動手段	練習は、実践中学校の音楽室で行ったため、基本的に送迎は無し。大会等の参加はしていない。
活動費用	指導者謝金 1,600円/1h
スケジュール	下記の予定であったが、新型コロナウイルスの影響で、休日の校外での演奏の機会がなかった。 <ul style="list-style-type: none"> ・関所健康マラソン大会演奏(中止) ・ぎおんさん(町内の祭)演奏(中止) ・南関町文化祭演奏(中止) ・ふるさと関所まつり演奏(中止) ・陶器・梅まつり演奏(中止) ・社会を明るくする運動推進大会(中止)
保険加入等	スポーツ安全保険(文化活動) 指導者1名、生徒11名

【活動の様子（写真添付）】

